

時津町は「^{うちどく}家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ようじむ 幼児向け 2024年 ^{ねん}冬号 ^{ふゆごう}



「おせち」

内田 有美/文・絵 満留 邦子/料理 三浦 康子・監修
(福音館書店)

おせちって、しってる？^{あたらし}新しい年を祝う、
みんなの願いが込められている料理です。たと
えば、くろまめは「まめまめしくくらすえますよ
うに」。なますとかまぼこは、^{あかし}赤と^{しろ}白のおめで
たい色。かずのこは「こどもが^{いろ}いっぱいうまれ
ますように」。ほかに、^い意味のある料理がた
くさん！

^{だん}3段の^{じゅうばこ}重箱いっぱいの、おめでたいおせち。
^{しんねん}新年を迎えるのが^{たの}楽しみになる本。

^{うちどく}家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本に
ついて話す。これが「うちどく (家読)」です。
難しいルールは要りません。

家族みんなでルールを決めてはじめてみま
しょう。

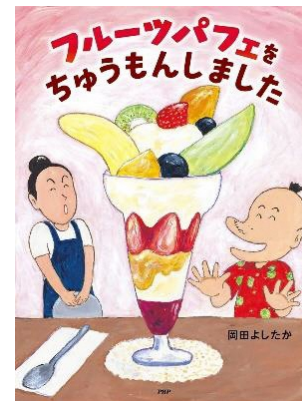
家族で同じ本を読みあったり、おとうさん
やおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい
時間を過ごしましょう。



「たぬきのおもち」

せなけいこ/作・絵 (金の星社)

うさぎたちがおもちをやいていると、おな
かがぺこぺこのたぬきがやってきました。た
ぬきは、うさぎたちがいないすきをねらって、
おもちを^た食べちゃった！ぜんぶよこどりしよ
うとしていると、そこにうさぎたちがもどっ
てきたので、いそいで大きなおもちにばけた
たぬき。でも、ひばちの^{うえ}上はあつくって、たま
らずにげだすと…。



「フルーツパフェをちゅうもんしました」

岡田 よしたか/作・絵 (PHP 研究所)

きっさてんでフルーツパフェをちゅうもん
したヨージさん。でも「あ、そうや！ よう
じおもいでした」とパフェをおいて、行って
しまいます。

しかも、ヨージさんったら次から次によ
うじを^{おも}思い出すので…パフェはいつになったら
食べてもらえるのかな？



「ねえどっちがすき？」

安江 リエ/ぶん 降矢 奈々/え
(福音館書店)

^{めだま}目玉焼きと^{たまご}卵焼き、リンゴとバナナ、ぶらん
こと滑^{すべ}だい台、「ねえ、どっちが ^す好き？」すてき
なものの中から、どれか一つを^{なか}選ばなきゃなら
ないなんて！それは、とっても^{むずか}難しい^{せんたく}選択で
す。リズムカルな^と問いかけと、^{やくどうかん}躍動感あふれるタ
ッチで描かれた^か男の子と^{おとこ}キツネくん。子どもた
ちは2人と一緒に「こっちがいいかな」「あっち
は^{ふたり}2人と一緒に^{いっしょ}「こっちがいいかな」「あっち
がいいかな」と迷いに迷うことでしょ。



「クリスマスにゆきがふりますように」

シビル・ドラクロワ/作 石津 ちひろ/訳
(講談社)

^{あした}明日はクリスマス。どうしても^{ゆき}雪がふって
ほしいリュシーと ^{おとうと}弟 のユリスは、ベッドに
はいってもなかなかねむることができませ
ん。リュシーがもらったスノードームをふっ
てみると…あらふしぎ！^{うへ}上から^{ゆき}雪がふってき
ました。2人は、^{ふたり}雪だるまを作り、^{つく}そりすべ
りをして^{たの}楽しい^{じかん}時間をすごします。



「かおたいそう」

むらた よしこ/作 (偕成社)

かおたいそうって知ってる？ちいさなき
みやおとうさん、おかあさん、おじいちゃ
ん、おばあちゃんだって、だれでもできち
ゃうかおのたいそうです！

えほんのかおに^あ合わせて、いっしょにう
ごかしましょ。家族みんなが^{かぞく}盛り上^もがり、^{こころ}心もリラックスすること、まちがい
なしですよ♪

とぎつちようりつとぎつとしよかん
発行：時津町 立時津図書館